

問 第四次南風原町総合計画の目標設定後の加入率の推移はどうか。

副町長 第四次総合計画策定時に平成17年度の自治会加入率64%を平成28年度に70%の目標であった。しかし、平成29年時点で44・76%となり目標達成に至っていない。

問 目的達成に至っていない反省、課題を踏まえて第五次南風原町総合計画策定後という事業を進めるか。

副町長 町の取り組みは、転入者へ自治会加入のメリット、その他自治会情報資料の配布や各自治会へ加入促進横断幕の提供を行っている。また、先進地視察研修に対して補助や区長会の場で自治会運営における課題について協議を行っている。今後とも区長会と連携して自治会加入促進に取り組む。

問 役場職員の自治会加入率を出せるのか。職員採用基準に自治会加入は入っているか。

総合計画の自治会加入 目標は達成できているか

答 目標達成に至っていない



大宜見 洋文 議員

総務部長 職員が自治会に加入しているかどうか調べたことはないが、全職員に聞くことは不可能ではない。職員採用の基準（条件）は、自由に選択できる考

え方などは入れられない。自治会加入は法律で強制されず選択肢がある。自治会加入は採用基準に反映できない事項と考える。

問 近い将来、ごみ袋価格変更の機会に、自治会に対して割安な設定してはどうか。自治会に入ってもらうことで地域の安心・安全につながる広報・指導できるように無料で自治会にゴミ袋を配り効果的に使えるシステムにすることは可能か。

町長 自治会に加入している人を優遇することそのものが問われる。自治会に加入している人していない人を区別することに對しては、行政が公平さを欠くことにつながる。議員も字の評議員の皆さんなどと一緒に皆で自治会（加入）促進の取り組みをすることが一番大事ではないか。

こんな質問もしました

- 保幼小連携の状況はどうか。
- はえばる大学（仮称）は。
- 国民健康保険の課題は。



自治会加入率アップは各字の課題である